



いのち支える

いのち支える自殺対策推進センター ニュースレター 第30号 (2024.04.05)

いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）のニュースレターにご登録いただき、どうもありがとうございます。本号では、昨年の自殺者数の確定値や、JSCPが発行するWebジャーナル『自殺総合政策研究』の最新号、6年ぶりに内容が更新されたWHO自殺報道ガイドラインの日本語訳全文公開、自死遺族等支援団体向け研修の報告などについてお伝えします。また、自殺未遂者ケア研修（一般救急版）の受講者募集のお知らせもご紹介します。最後までぜひご覧ください。

※このメールは、本ニュースレターの配信をご希望された方や、当団体の活動を通して、ご連絡先を頂戴した方に送信してまいります。今後メールの受信をご希望されない方は、お手数をおかけし大変恐れ入りますが、[こちら](#)から配信停止手続きのほど、お願いいたします。

・ ニュースレター第30号トピックス

1. 「自殺者総数も児童生徒の自殺者数も高止まり」 2023年の自殺者数の確定値が公表
2. 【調査研究】Webジャーナル『自殺総合政策研究』最新号を発行
3. 【レポート公開】令和5年度「第3回全国自殺対策主管課長等会議・地域自殺対策推進センター連絡会議」
4. 【自殺報道】WHO自殺報道ガイドライン2023年版 日本語訳を公開
5. 【自殺報道】オーストラリアのMindframe報道ガイドライン 日本語訳を公開
6. 【申込受付中】令和6年度 自殺未遂者ケア研修「第1回 一般救急版」<4/14締切>
7. 【動画・レポート公開】令和5年度「自死遺族等支援団体向け研修・意見交換会」
8. 【開催報告】日本自殺総合対策学会 第3回大会「抄録」が公開

1. 「自殺者総数も児童生徒の自殺者数も高止まり」 2023年の自殺者数の確定値が公表

2023年（令和5年）の年間自殺者数（確定値）が厚生労働省より公表されました。令和5年の年間自殺者数は21,837人で、前年と比べて44人の減少（0.2%の減少）となり、依然として年間2万人を超える深刻な状況が続いています。男女別にみると、男性は1万4,862人（前年比116人増）、女性は6,975人（前年比160人減）でしたが、20歳代以下の若者においては、男性は減少し、女性は大きく増加しました。

小中高生の自殺者数は513人で、過去最多だった前年から1人減と、ほぼ同数でした。性別でみると、男子生徒が34人減少した一方で、女子生徒は33人増加しました。一昨年と昨年の2年間で、あわせて1,000人を超えるこどもたち（小中高生）が自殺で亡くなっており、極めて深刻な事態と言わざるをえません。

■厚生労働省自殺対策推進室・警察庁生活安全局生活安全企画課発表の資料は[こちら](#)

2. 【調査研究】Webジャーナル『自殺総合政策研究』最新号を発行

JSCP発行の学術雑誌『自殺総合政策研究』第4巻第1号を、2024年3月26日（火）に公開しました。本号より新たに編集委員会を設置し、規程類を整え、公募と査読を取り入れたWeb版オープンアクセスジャーナルとして再出発しました。査読付き公募論文については残念ながら採択に至りませんでした。次の5本の論稿を掲載しています。

<本号の内容>

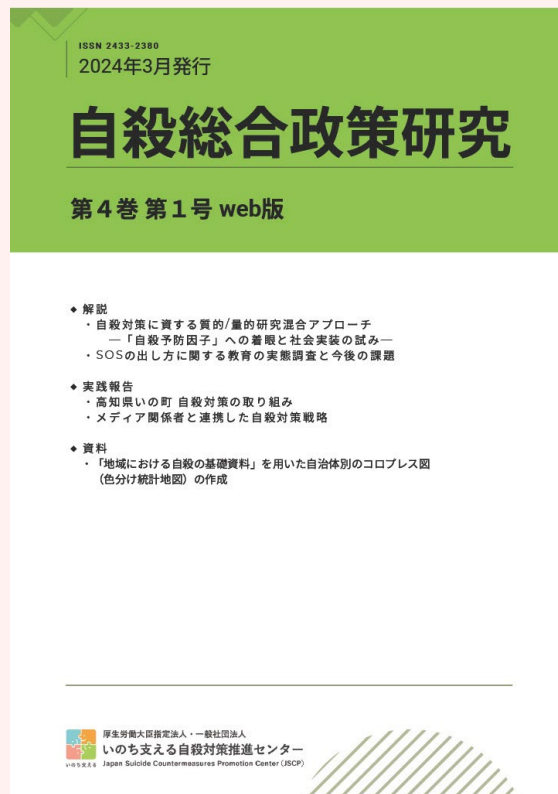
「解説」：「自殺対策に資する質的／量的研究混合アプローチ」「SOSの出し方に関する教育の実態調査と今後の課題」

「実践報告」：「高知県の町 自殺対策の取り組み」「メディア関係者と連携した自殺対策戦略」

「資料」：「『地域における自殺の基礎資料』を用いた自治体別のコロプレス図（色分け統計地図）の作成」

いずれも力作で、日本の自殺研究と自殺対策の推進への貢献が期待されます。以下のサイトより閲覧いただき、ぜひご感想、ご意見をお寄せください。

■Webジャーナル『自殺総合政策研究』
第4巻第1号は[こちら](#)



3. 【レポート公開】令和5年度「第3回 全国自殺対策主管課長等会議・地域自殺対策推進センター連絡会議」

JSCPは2024年3月1日（金）、厚生労働省と連携し、全国の都道府県・政令指定都市の自殺対策主管課ならびに地域自殺対策推進センター担当者等を対象とした、令和5年度「第3回 全国自殺対策主管課長等会議・地域自殺対策推進センター連絡会議」をオンラインで開催しました。この会議は、自殺の現状や取り組み等に関する情報提供を行うとともに、それらに関する議論を通じて地域自殺対策の一層の推進を図るものです。当日は各都道府県・政令指定都市から約120名が参加しました。

■詳しい内容は[こちら](#)からご覧ください



桜井宏充氏
(厚生労働省 自殺対策推進室 室長補佐)



村松裕文氏
(厚生労働省 自殺対策推進室 係長)



小牧奈津子
(JSCP 地域連携推進部 部長)



大竹三千代
(JSCP 地域支援室 室長)



森野嘉郎
(JSCP センター長補佐チーム チーム長)



清水康之
(JSCP 代表理事)

(※肩書は会議開催当時)

4. 【自殺報道】WHO自殺報道ガイドライン2023年版 日本語訳を公開

JSCPは、2024年3月27日（水）、世界保健機関（WHO）が2023年9月に公開したメディア関係者向けの自殺報道ガイドライン『自殺予防を推進するためにメディア関係者に知ってもらいたい基礎知識 2023年版』（「Preventing suicide: a resource for media professionals Update 2023」）について日本語訳を作成し、全文を公開しました。

■本ガイドラインは[こちらよりダウンロード](#)できます

5. 【自殺報道】オーストラリアのMindframe報道ガイドライン 日本語訳を公開

JSCPでは、WHO自殺報道ガイドライン以外にも、海外の優れたメディア向けガイドラインの翻訳を行っています。

去年は[アメリカのガイドライン](#)の日本語訳を公開しましたが、このたび新たに、オーストラリアの研究機関Everymindが作成した『自殺とメンタルヘルス不調に関する報道～オーストラリア・マインドフレームによるメディア関係者のための手引』（「Reporting suicide and mental ill-health: A Mindframe resource for media professionals」）の日本語訳を公開しました。自殺報道をより深く理解するために、また、メディア各社が自殺報道に関する独自の基準を検討する際の参考資料等として、ぜひご活用ください。

■本ガイドラインは、[こちらよりダウンロード](#)できます



6. 【申込受付中】令和6年度 自殺未遂者ケア研修「第1回 一般救急版」<4/14締切>

JSCPは2024年5月18日（土）、令和6年度 自殺未遂者ケア研修「第1回 一般救急版」を開催します。本研修の対象者は救急医療に従事する医師、看護師、ソーシャルワーカー、救急救命士、保健師ほか地域救急医療や地域精神保健福祉に関わる方等で、救急医療の現場で役立つ自殺未遂者のケース・マネジメントのポイントを、講義及びモデル症例を用いた多職種ワークショップを通して習得していただく内容です。

全プログラム（事前のeラーニングと対面でのワークショップ）を受講いただいた方には、修了証を発行いたします。

申し込みの締め切りは、4月14日（日）です。

■研修の詳細・お申し込みについては、[こちら](#)をご覧ください

7. 【動画・レポート公開】令和5年度「自死遺族等支援団体向け研修・意見交換会」

JSCPは2024年1月13日（土）、「令和5年度自死遺族等支援団体向け研修・意見交換会」をオンラインで開催し、全国で自死遺族等支援を行っている20の民間団体（以下、「参加団体」）から計20名が参加しました。本研修は、全国の自死遺族等支援団体の方々同士で意見交換をする場を設けることで、活動を展開する上でのヒントを得ていただくことを目的とし、令和4年度から開催しています。

当日はJSCPからの情報提供として、過去の本会の振り返りや、アンケートから見えてきた自死遺族等支援事業における課題が共有されました。その後、参加団体からは各団体の活動内容と課題についての発言があり、活発な意見交換も行われました。

会の後半では、JSCPが改訂作業を行っている「自死遺族等を支えるために～総合的支援の手引～」について、改訂の経緯と骨子案の説明・参加団体から寄せられた事前ヒアリングの内容を紹介しました。続く意見交換会では、普段からご遺族に寄り添った支援を行っている支援団体ならではの視点から、手引に関してのさまざまな意見が出されました。

■本研修で紹介された資料や、詳しい内容は[こちら](#)からご覧ください

8. 【開催報告】日本自殺総合対策学会 第3回大会「抄録」が公開

日本自殺総合対策学会は2024年2月26日（月）、第3回大会をオンラインで開催しました。JSCPは本講演会を厚生労働省と共に後援し、学会員・一般参加を合わせて約250名が参加しました。

大会では、企画セッション「自殺対策と個人情報保護」が、二部構成で行われました。I部「個人情報を『生きることの包括的な支援』に活かすために」では、個人情報保護法を踏まえ、対人支援に関係する個人情報の共有について、3つの報告・事例紹介がありました。また、II部「自殺総合対策に活かす個人情報の管理」では、統計等で情報を利用する立場から個人情報を守る仕組みの報告がありました。個人情報を提供する側からは、自死遺族の自助グループやそのサポートを行う立場からの体験的知識に基づき、個人情報を守ることの重要性や懸念点について意見の発表がありました。続いて、個人情報を利用する側と提供する側の双方を交えた総合討論が行われ、個人情報の利活用に関する今後のあるべき姿について、活発な意見交換が行われました。

■発表資料や意見発表等の詳細は、日本自殺総合対策学会の[ホームページ](#)から「抄録」をご覧ください

■YouTubeの「[JSCP 広報室](#)」チャンネルで研修動画等を順次公開しています。ぜひご登録ください。

■Yahoo!ニュース個人で、JSCPとして自殺問題・自殺対策に関する記事を配信しています（JSCP 広報室長・山寺が執筆）。ぜひご覧ください。<https://news.yahoo.co.jp/byline/yamaderaakaoru>

今後も、JSCPをどうぞよろしくお願いたします。

なお、配信停止をご希望の場合には、[こちらの](#)ページから、お手続きをお願いいたします。

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）

広報室 news@jscp.or.jp



<https://www.facebook.com/JSCP.press>



https://twitter.com/JSCP_press